

2025年度業務実績報告書

提出日 2026年 1月 7日

1. 職名・氏名 教授 岩谷久美子

2. 学位 学位 博士、専門分野 保健学、授与機関 金沢大学、授与年 2016年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母性看護学（2単位）3年次前期
② 内容・ねらい 妊娠期・分娩期・産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的・精神的・社会的側面からその特徴を概説し、ウェルネスの概念に基づき、健康上の強みを視点に於いた看護の必要性和具体的援助について講義を中心として学習の場とする。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オムニバスで担当するので、お互いの授業の視聴により担当した授業において関連づけながら講義をする。またこの科目が母性看護学実習に直結することから実習記録を授業で活用したり、実習に役立つ技術を中心に取り入れた。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母性看護学演習（1単位）3年次前期
② 内容・ねらい 妊娠期・分娩期・産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的・精神的・社会的側面からその特徴を理解し、看護過程を通してアセスメントする視点を学ぶ。さらに演習により、母性看護の対象に対する具体的援助の実際について学び、母性看護の役割を理解する。また母子保健に関して国内だけでなく、海外の看護活動から、現状や課題を考察できる機会とする。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オムニバスで担当するので、お互いの授業の視聴により担当した授業において関連づけながら講義をする。またこの科目が母性看護学実習に直結することから実習記録を授業で活用したり、実習に役立つ技術を中心に取り入れた。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母性看護学概論（1単位）2年次後期
② 内容・ねらい 母性看護の基盤となる概念（母性・父性・親性など）と母親および父親の役割取得と発達、女性のライフサイクルに応じた発達課題について教授する。さらに、現代社会の中に産むことと子育てに関する現状と課題を提示し、母性看護学の特徴・役割について教授する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 周産期に限定せず、女性の一生とその家族を中心とした概念を説明し、また日本や世界の母性看護に関する多方面からの動向や問題点を提供し考える場とした。特に授業における疑問や感想を毎授業ごとに確認し、もらすことなく回答するように心がけた。また、海外における母子保健の現状・課題として現在フィリピンで助産院を開業している方に特別講義をしていた。
【ゲストスピーカー 1名】

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母性看護学実習（2単位）3年次後期
② 内容・ねらい 母子とその家族を対象として看護を実践する。実習では、周産期の経過や対象の背景を把握し、知識を統合した看護アセスメント・看護計画立案と看護実践・評価を行い、基本的な看護実践能力を身につける。また、実習体験を通して周産期における母性の特性と母性看護の役割について理解を深める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 1組の褥婦（または妊婦）を受け持ち、褥婦（妊婦）その子どもを全体としてとらえて、ウェルネスの観点から看護の必要性を考え、健康的な生活や適応・親役割取得を支援するための看護計画を立案する。また機能別実習として、外来や妊婦などのケアを体験し、妊娠から産褥を通して連続性として捉えることを意識づけた。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 生殖看護発展セミナー（1単位）4年次前期
② 内容・ねらい 国内外のリプロダクティブヘルス&ライツの視点から最近の課題について探求し、母性看護の役割や母子保健について理解を深める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 国外を問わず、最近の話題や問題について医療・福祉、社会情勢など多方面から情報を収集し、女性の生涯にわたってリプロダクティブヘルス&ライツを脅かしている問題を検討し、女性の健康課題と母性看護の役割・医療従事者としての視点について学習した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3単位）4年次通年
② 内容・ねらい 母性看護学領域に関するテーマで一連の研究手法を学ぶ。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 国外を問わず、自分の興味のある研究テーマを選び、文献検索から論文作成の流れを理解する。既習の学習を振り返りながら、各自の疑問を明確にしてゼミに臨んでもらった。個人ワークとグループワークを活用しながらモチベーションを維持し自発性を重視した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護研究方法論（2単位）大学院1年前期
② 内容・ねらい 看護学領域における研究課題の明確化と概念枠組み、理論的思考等の重要性を教授する。また、研究課題に沿った研究デザイン、具体的な研究方法等の一連の研究プロセスを教授する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 演繹的アプローチと帰納的アプローチの方法を身につけるために、研究を行うための文献の活用能力や研究を行うための理論的思考と論文作成の知識と方法を身につける。オムニバスで担当し、看護研究方法論を修得し、各自の研究手法の活用につなげる。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護理論（2単位）大学院1年前期

② 内容・ねらい

主要な看護理論にふれ、それらを基に看護の中心的概念について考究する。また、複雑かつ困難な看護現象に対して、看護理論を活用することによってその現象を明確にし、質の高い看護実践ができる能力を養う。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

各看護理論の基本をオムニバスで教授し、理論と実践の統合をねらいとする。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

看護マネジメント学演習（2単位） 大学院1年後期

② 内容・ねらい

国内外の文献レビューを通して自己の研究課題を焦点化し、研究課題を解決するための研究方法を明確にできる。また研究計画書を作成し研究計画のプレゼンテーションができる。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

看護マネジメント学領域の研究課題を把握しつつ、自己の研究テーマを追究するための研究方法を検討し、研究フィールドと対象を選定できるよう示唆する。さらに研究計画書、倫理審査申請書を作成し、研究計画のプレゼンテーションとディスカッションを行い研究計画書を修正できるよう助言する。なお、社会人のため、遠隔での対応を優先する。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0 本】
② 学術論文（査読あり）	【0 本】
③ その他論文（査読なし）	【0 本】
④ 学会発表等 ＊ 1. 岩谷久美子, 周産期の対象への災害の影響やその対策に関する文献レビュー, 日本看護学教育学会 第 35 回学術集会, , 8/29-30, 2025. ＊ 2. 岩谷久美子,平井宏美,牧野葵, 仮想環境型教材である産褥早期出血場面の Review 機能を用いた振り返り内容及び教材評価, 第 45 回日本看護科学学会 学術集会, 12/6-7, 2025. 3. 平井宏美,岩谷久美子,牧野葵, 母性看護過程演習におけるルーブリックの開発, 第 45 回日本看護科学学会 学術集会, 12/6-7, 2025. 4. 牧野葵,岩谷久美子,平井宏美, 日本における家庭での性教育に関する文献レビュー～親の認識に焦点をあてて～, 第 45 回日本看護科学学会 学術集会, 12/6-7, 2025.	【4 件】
⑤ その他の公表実績 1. 福井県立大学研究シーズ集「危険認知に関する仮想環境型教材の開」2025 発行, p73 2. 基盤研究 C（研究代表者）分娩時の助産師の危険認知と行動が自己観測できる仮想環境型教材の開発と評価,実施状況報告書	【2 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 1. 基盤研究 C（研究代表者）;臨床推論力を高める育児支援場面の双方向性に対応できる仮想環境型教材の発展と実証 【学内】 1. 2025 年度 看護福祉学部 KF 枠研究費取得:「周産期の妊産褥婦を対象とした災害時の準備状況と課題」 2. 2025 年度 看護福祉学部 KF 枠研究費取得: 共同研究者「母性看護過程演習におけるルーブリック作成過程の実際とその有効性について」	
(3)特許等取得	
「バーチャルリアリティを用いた看護実習システム」特許申請中（JP2023-033978）	
(4)学会活動等	
第 40 回日本保健医療行動科学学術大会の実行委員としての打合せ等	

5. 地域・社会貢献活動

- ⑤ 福井県母性衛生学会理事（2022 年 4 月～現在に至る）
- ⑤ 北陸母性衛生学会理事（2023 年 11 月～現在に至る）

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

福井県立大学看護学科内カリキュラム検討委員
福井県立大学学生支援委員
福井県立大学学科内 4 年主担任

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など

- 1. 石川県食品衛生責任者免許（第 507-5101）取得